

2016年度秋季特別展



会期 | 2016.11.15 | 火 | ~ 2017.1.22 | 日 |

会場 | ● 西南学院大学博物館 特別展示室

開館時間 / 10:00~18:00 (入館は17:30まで)
休館 / 毎週日曜日(1月22日を除く)・12月28日~1月5日
観覧料 / 無料

同時開催

● 福岡市博物館 企画展示室4

TEL.092-845-5011 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1
開館時間 / 9:30~17:30 (入館は17:00まで)
休館 / 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日休館)・12月28日~1月4日
観覧料 / 一般 200円 高校生 150円 中学生以下 無料

共催 | 西南学院大学博物館・福岡市博物館

後援 | 福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団



開催概要

1549(天文18)年、フランシスコ・ザビエルの来日以降、キリスト教が日本にもたらされ、西日本を中心に広がっていきまし。しかし、豊臣秀吉や続く江戸幕府はキリスト教を禁止しました。禁教を背景として「鎖国」体制が確立し、ポルトガル船の来航は禁止されました。幕府はその報復を恐れて1641(寛永18)年、福岡藩に長崎港の警備を命じます。翌年佐賀藩が警備を命じられ、以降隔年で長崎において警備を行いました。

江戸時代後期になると、ロシアやイギリスなどの列強が日本近海に出没するようになります。もはや長崎のみの警備では対処しきれず、全国規模での海防の必要性が生じました。対外的な緊張感が漂う中、ペリーをはじめとする外交使節が来航し、「開国」を迎えることとなります。本展覧会では、福岡藩の海防に注目し、江戸時代の対外交渉における活躍を概観するものです。また、警備という役割のなかで福岡藩が触れた異国文化についても併せて紹介していきます。

西南学院大学博物館会場

I キリスト教の伝来と禁教政策

キリスト教が日本に伝来すると、キリシタンの数は増大しました。しかし、江戸幕府はキリスト教の信仰を禁止し、さまざまな禁教政策を施行しました。

II 福岡藩と海防

江戸幕府はポルトガル船の入港を警戒し、福岡藩と佐賀藩に長崎警備を命じました。江戸時代後期になると、貿易の市場獲得などを求めた西洋諸国の船の来航により、対外的な緊張が高まってきました。

III 幕末の福岡藩と開国

さまざまな海防策が論じられるなか、1853(嘉永6)年のペリー来航を皮切りに列強の使節が来日し日本は「開国」を迎えます。特にロシア使節のプチャーチンが来航した際には、福岡藩が警備にあたりました。

IV 福岡藩と異文化交流

福岡藩の藩士たちのなかには、西洋の学問を学ぶために長崎へ遊学したものたちもいました。長崎を訪れた福岡藩領の学者たちや彼らが触れた異国文化について注目します。



西南学院大学博物館会場

行事予定

2016年(平成28年)~2017年(平成29年)

【特別展/企画展】

11月13日(日)~2017年3月1日(木)
西南学院大学博物館 × 國學院大学博物館 相互貸借特集展示XII
「キリスト教信仰のかたち —祈りの道具にみる多様性—」
[場所] 國學院大学博物館

11月15日(火)~1月22日(日)
西南学院大学博物館秋季特別展
「異国と福岡 —江戸時代における長崎警備と対外交流—」
[場所] 西南学院大学博物館

11月1日(火)~2017年2月11日(土)
西南学院大学博物館 × 南島原市 相互貸借特集展示VII
「シーボルトが描いたニッポン」
[場所] 原城図書館

【講演会】

12月3日(土)
第20回特別展関連公開講演会
[講師] 宮崎克則氏(西南学院大学博物館館長)
高山英朗氏(福岡市博物館学芸員)
[場所] 西南学院大学博物館

【せいはんワークショップ】

12月1日(木)~12月24日(土)
「クリスマスツリーを飾ろう!」
[場所] 西南学院大学博物館

【せいはんおでかけワークショップ】

2017年2月25日(土)
「せいはんおでかけワークショップ in 布津図書館」
[場所] 布津図書館
「せいはんおでかけワークショップ in 深江図書館」
[場所] 深江図書館

2017年3月11日(土)
「せいはんおでかけワークショップ in 加津佐図書館」
[場所] 加津佐図書館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館
SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM
〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/

●開館時間のご案内
開館時間 / 10:00~18:00 (入館は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇(8/10~8/16)
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]
入館料 / 無料

来館者掲示板

【来館者の言葉】

Great restoration work!
I like the stair case.
(2016年9月)

三回目の訪問。訪れる度に、
キリスト教への理解が深まり感動です。
(2016年9月)

島原・天草一揆の資料、参考になりました。
(2016年10月)

1996年以来的来院、感激しました。
今後のご発展を祈ります。
(2016年10月)

当館では、「連携」と「協働」の理念のもと、これまで大学博物館や地域博物館と共同事業を行ってきました。常設展示室では当館が所蔵する資料だけではなく、國學院大学博物館、南島原市の資料を展示しており、この「大学・地域連携事業」の展示が当館の魅力の一つでもあります。来館者掲示板には、これらの資料に関する感想も少なくなく、このことは共同事業の成果と言えると思います。これからも、「社会に開かれた博物館」として地域社会に貢献していきたいと思ひます。

学芸調査員 唐島 慎一

アクセスマップ ACCESS MAP



福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分
博多駅 → 西新駅下車 → 約12分
天神 → 西新駅下車 → 約8分
※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分

博多駅バスセンター → 修験館前 → 約35分
天神 → 修験館前 → 約20分
※修験館前バス停から徒歩5分

福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 29 2016.12

西南学院大学

所蔵品紹介
特集

豊後国の岡藩主中川家の
「中川クルス紋」とも呼ばれる家紋
「中川車紋軒丸瓦」

聖書植物園紹介⑤ 聖書植物園の「レンズマメ」

特別展紹介 異国と福岡「—江戸時代における長崎警備と対外交流—」

大学博物館紹介② 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

学芸員の眼 ワークショップ「—博物館の教育普及活動II—」

中川車紋軒丸瓦
[西南学院大学博物館所蔵]

SEINAN GAKUIN
1920



聖書植物園の「レンズマメ」

聖書植物園 HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/shokubutsu/>

前号に引き続き、聖書植物園にて生育中の植物を、聖句とともにご紹介いたします。
今回は、レンズマメを取り上げます。

【聖句】 ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えた。
エサウは飲み食いしたあげく立ち、去って行った。こうしてエサウは、
長子の特権を軽んじた。(旧約聖書創世記25章34節)



レンズマメは食物繊維、ミネラル、ビタミン、タンパク質が豊富で、
古代には貧者の肉と考えられており、聖書において重要な農
作物です。旧約聖書創世記によれば、エサウは狩猟に失敗し
て飢えていた際、弟ヤコブにレンズマメの煮物を食べさせてもら
う代わりに、自分の長子権を譲ったとされています。長子権とは
長男だけが父の身分を継ぎ、種族の代表となる特権のことで
あり、当時の社会では非常に重要な長子権を軽んじたエピソード
として語られています。

高さは40cmほどで、小さな豆果の中に種子が2個できます。
種子は丸くて扁平な形で、直径4～8ミリ、厚さが2～3ミリです。
この豆の表皮の色は褐色や緑褐色、暗緑色、黒褐色等が



【和名】 レンズマメ
【英語名】 Lentil
【学名】 Lens culinaris
【所在】 大学チャペル裏

あり、皮をむいた状態では黄色、赤橙色等があります。初夏に
は白い小さな花をつけ、結実します。
当館の常設展示室内「聖書植物の世界」コーナーにて、レンズ
マメの標本をご覧になることができます。お立ち寄りの際は、展示と
ともにぜひ実物もご鑑賞ください。

学芸調査員 唐島 慎一

【大学博物館紹介②】

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館は、東北大学名誉教
授芹沢長介氏が父、芹沢銈介の作品とコレクションを寄贈
したことにより1989年に開館しました。

銈介は、型絵染の重要無形文化保持者(人間国宝)で、
沖縄の紅型の美しさに感動してから1984年に88歳で亡くなる
まで型染めを追及し続けました。「世界美のデザイナー」
「アートディレクター」と称される彼の作品は、暮らしの中で用
いられるものから鑑賞用の作品、商業デザインなどあらゆる分
野に及び、自由で力強いながらも親しみやすく、才気煥発さ
を感じさせます。また、彼は美術工芸品コレクターでもあり、彼の



審美眼をもとに世界各国から集めたものは、染織品、木工品、
土器・土偶、編組品、装飾品、家具と多岐に渡ります。古い伝
統が息づく東北の文化とそこに暮らす人びとをこよなく愛していた
彼の「東北の人たちにもアンデス、アフリカの染織品を中心とし
た展示を」という思いを受けて寄贈されたこれらのコレクション
は、同美術工芸館が現在までかたちにしてきています。
彼のインスピレーションの根源、世界観は、年に3～4回、各テ
ーマに沿った企画展や特別展示で見ることができ、また、展覧会
ごとに開催される講習会やワークショップといった関連イベントで
手仕事の魅力に触れることができます。

学芸調査員 池永 照美

開館時間 / 10:00～16:30(入館は16:00まで)
休館日 / 日曜・祝日、大学休業日 入学試験当日
展示替え期間(冬期休館含む)
入館料 / 一般 300円 団体割引 200円(20名以上)
大学生・専門学生 200円 団体割引 100円
お問い合わせ / 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 TEL:022-717-3318

所蔵品紹介

中川家の「中川クルス紋」とも呼ばれる家紋

中川車紋軒丸瓦

本資料は豊後国(現在の大分県の一部)の岡藩
の代々の当主であった中川家の家紋を彫った瓦
です。岡藩初代藩主中川秀成が岡城に入城した
のは1594(文禄3)年のことであり、岡藩は1871
(明治4)年の廃藩置県まで存続しました。中川家
の治めていた岡藩には滝廉太郎の「荒城の月」で
有名な岡城が存在します。

本資料は瓦当部が残るのみですが、建物の軒先に
用いられたと考えられます。一見すると家紋は十字
架を思わせるような形をしていることから現在、中川
クルス紋(クルス=十字架)と呼ばれることもあります。
十字架を持つ瓦として有名なものは、秋月城跡から
出土した罪標付十字架浮文軒丸瓦や長崎市内
を中心に出土している花十字文瓦などがあります。
これらの瓦はキリスト教との関連性が明らかですが、



中川家家紋軒丸瓦外面

中川家家紋軒丸瓦内面 制作時の調整痕

今日、中川家がキリストンであったとする史料は見つか
っていないため、家紋にキリスト教との関連性はないと考
えられています。なお、本資料は初代西南学院大学博物
館長の高倉洋彰氏より寄贈された資料です。

学芸調査員 秋田 雄也

学芸員の眼 | 一博物館の教育普及活動Ⅱ | ワークショップ



西南学院大学博物館では教育普及の一環として、
ワークショップを2010年度より開催してきました。小学生
を対象とした「せいなんこどもワークショップ」では、より博
物館に親しんでもらうことを目的に、博物館で開催してい
る特別展や企画展に関連したもの、季節の行事を取り
入れたものなど、これまでに様々なワークショップを行って
きました。その様子は博物館のホームページやSNS、毎
年刊行する年報などでご紹介しています。

また、ワークショップでは西南学院大学の学生がボラン
ティアスタッフとして、子ども達のお世話をしてくれます。こ
うした世代を越えた交流は、こどもにとっても学生にとつ
ても、いい刺激になっているようです。
どうしたら楽しく学び、体験してもらうことができるのかワー
クショップの企画・運営を担当するスタッフたちと一緒に
頭を悩ませながら、次回も楽しく学べるワークショップを
お届けしていけたらと思います。

学芸研究員 山尾 彩香



博物館通信

2016年9月から11月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

- 9月27日(火)～ 國學院大學博物館・相互貸借特集展示XI
「漢代の世界観 一鏡と明器に見る古代中国文化」の展示を開始しました。
(2017年1月27日(金)まで開催)
- 10月 8日(土) 西南学院大学博物館ワークショップ「博多織で博多おきあげをつくろう」を実施しました。
- 11月13日(日) 國學院大學博物館にて
「渋谷で知るキリスト教 ―キリストの教えと芸術―」のミュージアム・トークとワークショップを行いました。
- 11月15日(火)～ 2016年度西南学院大学博物館秋季特別展
「異国と福岡 ―江戸時代における長崎警備と対外交流―」の展示を開始しました。
(2017年1月22日(日)まで開催)
- 11月26日(土) 西南学院大学博物館秋季特別展
「異国と福岡 ―江戸時代における長崎警備と対外交流―」のミュージアム・トークを行いました。



國學院大學博物館・相互貸借特集展示XI 「漢代の世界観 一鏡と明器に見る古代中国文化」 西南学院大学博物館ワークショップ 「博多織で博多おきあげをつくろう」 國學院大學博物館ミュージアム・トーク 秋季特別展ミュージアム・トーク

サテライト展示

國學院大學博物館相互貸借特集展示XII

キリスト教信仰のかたち ―祈りの道具にみる多様性―
会期 / 2016年11月13日(日)～2017年3月1日(水)
会場 / 國學院大學博物館

國學院大學博物館相互貸借特集展示XI

漢代の世界観 一鏡と明器に見る古代中国文化―
会期 / 2016年9月27日(火)～2017年1月27日(金)
会場 / 西南学院大学博物館

南島原市サテライト展示VIII

シーボルトが描いたニッポン
会期 / 2016年11月1日(火)～2017年2月13日(月)
会場 / 南島原市原城図書館

南島原市相互貸借特集展示VII

語り継がれる島原・天草一揆
会期 / 2016年12月1日(木)～2017年3月22日(水)
会場 / 西南学院大学博物館



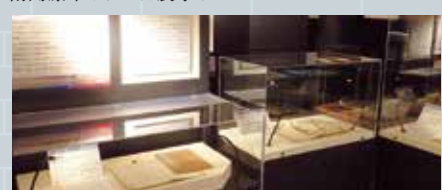
國學院大學博物館相互貸借特集展示XII



國學院大學博物館相互貸借展示XI



南島原市サテライト展示VIII



南島原市相互貸借特集展示VII